

50周年に思う



山梨県テニス協会

副会長 飯室訓勇

50年前と言いますと、今年75歳を迎えた私が25歳の時となります。当時東京より戻り、家業の商売についた頃だと思います。大学の硬式テニス同好会でテニスをしていましたので仲間を集め、甲府テニスクラブを結成しました（望月・大堀・西川）。緑が丘のコートで毎日仕事前の早朝、又、日曜日は1日中プレーをしていました。当時は軟式テニスがほとんどで硬式テニスはあまりされていませんでした。後に、土屋先生の甲府ローンテニスクラブの存在を知りました。甲府南高校のコートで土屋先生を初めて拝見したとき、英国のジェントルマンの如くプレーをされており、さすが硬式テニスをなさる方だと未だに目に焼き付いております。

その土屋先生が協会の会長となられ、今日の山梨県テニス協会の発展に寄与されてきたことは衆目の認めるところであります。私も副会長として一緒に歩んできましたが、十分な協力ができず申し訳なく思っております。

50周年を顧みますと、土屋会長を中心に若い（今ではだいぶ年をとりましたが）執行部がチームワークよく年間の多くの事業を無財の奉仕でやられてきたことに深く感謝しております。これからもこの素晴らしいチームワークで山梨県テニス協会の発展のため御尽力を賜りたくお願い申しあげます。